

望める)12時15分山頂(1,003m)に到着すると、「富士山どーん」をバックに写真を撮り思い思いにシートを広げて昼食タイムを過ごし、下山開始扇山方向に10分ほど進むと急な紐場が結構長く続き時間がかかってしまうがほぼコースタイム通りで15時20分猿橋駅に到着した。

◆2月12日、日本200名山の一座秩父の名峰武甲山に7人で挑みました。武甲山の石灰岩は古くから漆喰などの原料として採掘されていた。明治期よりセメントの原料として採掘が進められ、山姿が変貌するほど大規模な採掘が進められ、1,336mあった標高は現在1,304mになっている。西武鉄道秩父線横瀬駅を2台の車で出発10分程進むと石灰岩加工の工場があらわれ、そこを過ぎると坂道の雪が凍結していたため途中の空き地に駐車して登山口のある一の鳥居に9時45分到着、不動滝で写真を撮り32丁目(1丁は90m)の先にある大杉の広場で休憩を取って、思い思いに行動食で一息ついた、ここから先の九十九折の登山道は凍結していてスローペースに、12時20分山頂到着後、証拠写真を撮り御嶽神社の軒下を借りて昼食後下山開始15時30分横瀬駅に着いた。



武甲山

◆3月の山行は山梨県大月市の秀麗富嶽十二景の一座倉岳山で8人の参加。梁川駅を出発20分で登山口に到着、途中三度程の小休憩をはさみ11時45分に立野峠に着く、此処までくるともうすぐ高岳山の山頂である。記念写真を撮り、1時間ゆっくりと食事休憩を取って、13時半下山開始頂上直下はかなりの急こう配で思いのほか時間を費やす、当初予定していた高畑山への縦走は遠方より参加の帰宅時間を考慮し取りやめ鳥沢駅に到着、今回の天気は雲が多く残念ながら富士山を望むことができなかった。



倉岳山

ハイキング同好会

代表 奥山 悅 (昭和41年工業化学科卒)

携帯 : 090-5771-1743

E-mail : okuyama.kou@mx5.ttcn.ne.jp

事務局 嵐 岩 良平 (昭和43年電気科卒)

携帯 : 080-1282-9458

E-mail : saga_ryohei@ybb.ne.jp

民謡同好会

民謡同好会は、発足して4年目を迎えました。NHKのど自慢チャンピオンにして、秋工会における民謡のレジェンド山形俊男さん(39M)を代表として、総勢11名で活動をしております。これまでに課題曲として取り組んだのは秋田節、秋田酒屋唄、ドンパン節で、今年度は、民謡王国秋田を代表する唄と言われる、生保内節を取り組んでおります。正直に言って、ほぼプロの域の山形代表を除けば、技量はまだまだです。でも、その山形さんの厳しい指導を何とか受け止めて、少しあはまくなりたいと、月1回の合同練習、そして個々の自習を重ねているところです。

当面のテーマは以下の通りです。

- (1) 正しい姿勢で。
- (2) 腹から声を出す。
- (3) 正しい音程を覚える。

12月の金砂健児の集いでは、少しあはまになりましたが、金砂健児の集いでは、少しあはまになりました。

新規の加入を希望される方大歓迎です。腹から声を出して、懐かしき秋田の雰囲気を実感しませんか。



総会で民謡を発表



民謡練習終了後の懇親会で、民謡を披露

民謡同好会

代表 山形 俊男 (昭和39年機械科卒)

事務局 佐藤 弘 (昭和40年機械科卒)

携帯 : 080-1206-5180

【秋田ひえほなの会】企画の本

首都圏在住 秋田人 100人の物語

首都圏で力強く生きる、ふるさとをこよなく愛する秋田人たちの文集です。



スタッフ10人の寄稿をまとめたサンプル版(無料)。秋田魁新聞の記事になるなど、配布時大きな話題となりました。

サンプル版ご希望の方及び本についてのご質問・お問い合わせ等がございましたら下記に記載の担当者へご連絡ください。

・畠ひえほなの会・

Circle of AKITA-HEBANA

首都圏在住秋田人100人の物語

出版委員会

お問い合わせは同本制作担当、船木(S48M)まで

携帯 : 090-3049-7291

E-mail : kf-works@sea.plala.or.jp